

精密工学会賞 第6回 (2010年度)

受賞者業績紹介

受賞者： 松宮 貞行 氏

松宮貞行氏は、1974年に(株)ミットヨに入社以来、一貫して精密測定機器の研究開発、新商品開発に取り組み、三次元測定機、画像測定機、形状測定機、光学測定機器、センサ機器、測定工具他、多くの精密測定機器の開発を推進し、産業界の要求に適応した先進的な精密測定機器を提供してきた。例えば、三次元測定機、画像測定機、形状測定機においてCNCシステムの開発により、高速、高精度測定を実現させた。また、精密測定機器の新しい検出部の研究開発、操作性を考慮したソフトウェア開発、大量の測定データ処理を可能とするシステム効率など、基幹技術開発からシステム開発まで幅広く、開発を統括推進し多くの新商品を創出してきた。この間、多数の特許出願およびGoodDesign賞受賞などの実績もある。

これらの精密測定機器により、各産業界での工業製品の生産性向上、品質信頼性向上等に大きく貢献してきた。また、精密工学会よりフェローの称号を授与されるなどその業績は高く評価されている。

以上のように、同氏の精密計測分野に対する工学的・工業的な貢献は極めて大である。

1974年 中央大学理工学部精密機械工学科卒業

同 年 (株)ミットヨ技術本部入社

1994年 同溝の口開発センタ商品開発部部长

2000年 同川崎研究開発センタセンタ長

2001年 同取締役就任

2008年 同常務取締役就任

精密工学会フェロー (2006年度) , 精密工学会評議員